

## 賞味期限前食品の廃棄ゼロ行動宣言

東京都食品ロス削減パートナーシップ会議(以下「パートナーシップ会議」という。)は、2030年の食品ロス半減を目指し、製造、卸、小売、外食等の各関係団体、消費者団体、有識者が一堂に会して食品ロス対策の検討を行い、連携・協働を進めていくことを目的として2017年に設置した。パートナーシップ会議の構成団体等の各主体による自主的な行動や連携・協働した取組により、2019年度(令和元年度)の都内食品ロス発生量は過去最低の44.5万トン、2000年度比約41%削減となり、都民や事業者等の協力によって着実に成果を挙げているところである。

一方、昨今の新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機等をはじめとする社会情勢の変化に伴い、足元では物価高騰が進み、2022年(令和4年)12月には消費者物価指数が4.0%の上昇と、40年ぶりの歴史的な上げ幅を記録した。このような物価高騰が続く中、食品の製造、卸、小売、外食、消費で発生する食品ロスの削減に向けた取組の重要性は一層高まっている。また、賞味期限前食品の廃棄防止は社会全体で求められる行動である。

このたび、パートナーシップ会議は、納品期限の見直しをはじめ、以下の取組のような、賞味期限前食品の廃棄ゼロに向けた行動を強化することを宣言する。

(食品製造事業者)

- ✓ 賞味期間の長い食品は、賞味期限を年月表示に切り替えていく。

(食品小売・卸売事業者)

- ✓ 厳しい納品期限を設定している場合は見直す。
- ✓ 賞味期限前食品をフードバンク等へ寄贈し、有効活用する。

(消費者)

- ✓ 消費時期を踏まえ、「てまえどり」等、できる限り賞味期限(おいしいめやす)間近の食品を選択する。

令和5年2月3日

東京都食品ロス削減パートナーシップ会議